

論点3 商品売買取引に関する仕訳

- 1 豊川産業は、蒲郡商事に商品 200 個、@ ¥100 を売り上げ、代金は掛とした。
- 2 1 で売り渡した商品に汚損があったため、1 個につき ¥5 の値引きを行った。
- 3 1 で売り渡した商品のうち、3 個について品違いが判明したため、返品を受けた。
- 4 1 の取引を蒲郡商事の立場で仕訳しなさい。
- 5 2 の取引を蒲郡商事の立場で仕訳しなさい。
- 6 3 の取引を蒲郡商事の立場で仕訳しなさい。
- 7 田原商店は、得意先豊橋物産に商品 50 個、@ ¥1,200 で売り上げ、代金は掛とした。
なお、発送運賃（当方負担） ¥1,000 は現金で支払った。
- 8 7 の取引を豊橋物産の立場で仕訳しなさい。
- 9 豊根木材店は、商品 200kg、@ ¥150 を得意先南知多商店に売り上げ、代金は掛とした。
なお、発送運賃（先方負担） ¥3,000 は現金で立替え払いした。
- 10 9 の取引を南知多商店の立場で仕訳しなさい。
- 11 設楽商店は、東栄商店より商品 ¥890,000 を仕入れ、代金は月末払いとした。なお、
引取費 ¥3,500 は現金で支払った。
- 12 11 の取引を東栄商店の立場で仕訳しなさい。
- 13 津島商事は月末に、愛西商店に対する売掛金 ¥140,000 について、同店よりの材料
購入による買掛金 ¥100,000 と相殺し、残額は現金で受け取った。
- 14 13 の取引を愛西商店の立場で仕訳しなさい。
- 15 得意先が倒産したため、当期に発生した売掛金 ¥100,000 が貸し倒れになった。な
お、貸倒引当金残高は ¥89,000 である。
- 16 得意先が倒産したため、前期に発生した売掛金 ¥100,000 が貸し倒れになった。な
お、貸倒引当金残高は ¥89,000 である。
- 17 前期に倒産した得意先から、貸し倒れ処理してあった ¥200,000 を現金で回収した。
- 18 商品 ¥70,000 を仕入れるにあたり、運送費 ¥2,000 および保険料 ¥300 を小切手を
振り出して支払った。
- 19 飛島商事へ売り上げた商品のうち、品違いがあり、売価で ¥20,000 分が返送されて
きた。また、返送に要した運賃 ¥1,200 は現金で支払った。
- 20 弥富工業から購入した商品について、¥7,000 の割戻し通知を受けたので、買掛金
¥40,000 から割戻し額を差し引き、差額は現金で支払った。